

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2013年8月8日
【四半期会計期間】	第32期第1四半期(自2013年4月1日至2013年6月30日)
【会社名】	株式会社ゼンショーホールディングス
【英訳名】	ZENSHO HOLDINGS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長兼CEO 小川 賢太郎
【本店の所在の場所】	東京都港区港南二丁目18番1号
【電話番号】	03-6833-1600
【事務連絡者氏名】	グループ経本部長 福元 哲朗
【最寄りの連絡場所】	東京都港区港南二丁目18番1号
【電話番号】	03-6833-1600
【事務連絡者氏名】	グループ経本部長 福元 哲朗
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第31期 第1四半期 連結累計期間	第32期 第1四半期 連結累計期間	第31期
会計期間	自2012年 4月1日 至2012年 6月30日	自2013年 4月1日 至2013年 6月30日	自2012年 4月1日 至2013年 3月31日
売上高(百万円)	98,856	109,302	417,577
経常利益(百万円)	1,803	1,720	13,873
四半期(当期)純利益(百万円)	355	66	5,058
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	82	565	7,204
純資産額(百万円)	48,024	54,565	55,218
総資産額(百万円)	238,842	255,508	258,509
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	2.93	0.55	41.77
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	15.6	16.4	16.5

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(2013年4月1日から2013年6月30日まで)におけるわが国経済は、新政権による経済政策・金融政策への期待感から景気回復の動きが見られたものの、急激な円安や新興国の経済成長の鈍化等により、先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、消費マインドに回復の兆しが見られますが、食材価格の高値圏での推移や電気料金の上昇などにより引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、コア事業であります牛丼カテゴリーの「すき家」は、既存店売上高を中長期的に高い水準(当第1四半期累計期間の既存店売上高は2003年比で113.6%、2009年比で107.9%)を維持しておりますが、既存店売上高前年比は93.6%となりました。加えて、米・肉価格をはじめとする食材価格の高値圏での推移やエネルギーコストの上昇により、前年対比減益となっております。また、レストランカテゴリーの「ココス」・「ビッグボーイ」・「ジョリーパスタ」ならびに、出店を進めているファストフードカテゴリーの「はま寿司」の既存店売上高は、概ね堅調に推移しております。

当第1四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、58店舗出店、9店舗退店等により、4,697店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,093億2百万円(前年同期比10.6%増)、営業利益16億19百万円(同23.1%減)、経常利益17億20百万円(同4.6%減)、四半期純利益66百万円(同81.2%減)となりました。

当社はフード事業の単一セグメントであります。その内訳は、外食と小売の2事業から成ります。

外食事業

外食事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は1,023億99百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は20億25百万円(同2.9%減)となりました。

外食事業における主要カテゴリーの状況は以下の通りです。

(牛丼カテゴリー)

牛丼カテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、38店舗出店、4店舗退店した結果、2,499店舗となりました。内訳は、「すき家」1,943店舗、「なか卯」482店舗(FC24店舗を含む)等であります。

株式会社ゼンショーが経営する牛丼チェーンの「すき家」では、新規出店および広告宣伝等によるブランド力の強化を行うとともに、4月には「やきそば牛丼」(並盛390円)、5月には「うな丼」(並盛780円)を販売するなど、既存の商品に加えて新商品やシーズン商品投入し、商品力強化を行ってまいりました。そして、引き続きお客様に安全でおいしい商品を安心して召し上がっていただくために、品質管理の強化とサービス水準の向上に努めてまいりました。

株式会社なか卯が経営する和風牛丼・京風うどんの「なか卯」につきましては、季節限定商品の投入や既存商品のブラッシュアップによる商品力の強化と店舗販促の実施により、業績の向上に努めてまいりました。

以上の結果、牛丼カテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、435億67百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

(レストランカテゴリー)

レストランカテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、5店舗退店、グループ内他業態への転換等を行った結果、1,546店舗となりました。

株式会社ココスジャパンが経営するスタンダードレストランの「ココス」につきましては、効果的な販促活動による売上高の確保や、労働生産性の改善等によるコストコントロールを継続的に行うとともに、店舗のサービス水準を向上させ、業績の向上に努めてまいりました。

株式会社ビッグボーイジャパンが経営するハンバーグ&ステーキレストランの「ビッグボーイ」等につきましては、メイン商品のブラッシュアップを図ると共に、サラダバー・スーパバーの充実やフェアメニューの投入を行うなど、業績の向上に努めてまいりました。

株式会社ジョリーパスタ(旧株式会社サンデーサン)が経営する茹であげスパゲッティと手作りピッツアの「ジョリーパスタ」につきましては、「パスタならジョリーパスタ」をテーマに、パスタ専門店の魅力をよりお客様へアピール出来るよう、パスタソースの継続的な改良や季節メニューの投入等を行い、一層のおいしさを追求してまいりました。

株式会社華屋与兵衛が経営する和食レストランの「華屋与兵衛」につきましては、お客様の満足度の向上を図るため、安全・安心でおいしい商品の開発および店舗従業員の教育強化によるサービス水準の向上、労働生産性の改善等に努めてまいりました。

以上の結果、レストランカテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、364億98百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

(ファストフードカテゴリー)

ファストフードカテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、20店舗の出店等を行った結果、558店舗となりました。

以上の結果、ファストフードカテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、186億60百万円(前年同期比38.2%増)となりました。

(その他カテゴリー)

その他カテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、36億72百万円(前年同期比3.8%減)となりました。当カテゴリーの主な内訳は、ピッツア製造販売等の株式会社トロナジャパン、醤油製造の株式会社サンビシならびに機能会社としてグループの物流機能を担う株式会社グローバルフレッシュサプライ、備品・ユニフォーム等を調達する株式会社グローバルテーブルサプライ等であります。

小売事業

当社の小売事業は、スーパーマーケット事業を展開する株式会社マルヤ、青果販売の株式会社ユナイテッドベジーズの2社から成ります。

小売事業につきましては、現在構造改革の途上であり、当第1四半期連結累計期間の売上高は69億3百万円、営業損失は4億5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、建設協力金の流動化等により30億円減少いたしました。

負債につきましては、未払法人税の支払等により23億47百万円減少いたしました。

純資産につきましては、配当金支払による利益剰余金の減少等により6億53百万円減少いたしました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	432,000,000
計	432,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2013年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2013年8月8日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	121,100,000	121,100,000	東京証券取引所 (市場第一部)	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 単元株式数 100株
計	121,100,000	121,100,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減額 (百万円)	資本準備金残高 (百万円)
2013年4月1日～ 2013年6月30日	-	121,100,000	-	10,089	-	10,012

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2013年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2013年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 23,400	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 121,037,500	1,210,375	同上
単元未満株式	普通株式 39,100	-	同上
発行済株式総数	121,100,000	-	-
総株主の議決権	-	1,210,375	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,400株(議決権の数24個)含まれております。

【自己株式等】

2013年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)ゼンショーホールディングス	東京都港区港南二丁目18番1号	23,400	-	23,400	0.02
計		23,400	-	23,400	0.02

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2013年4月1日から2013年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2013年4月1日から2013年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,657	16,494
受取手形及び売掛金	4,748	4,289
商品及び製品	10,012	9,942
仕掛品	510	530
原材料及び貯蔵品	2,492	2,653
その他	13,403	12,240
貸倒引当金	10	13
流動資産合計	49,816	46,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	160,366	162,124
減価償却累計額	82,418	84,220
建物及び構築物(純額)	77,947	77,903
機械装置及び運搬具	12,583	13,095
減価償却累計額	6,040	6,387
機械装置及び運搬具(純額)	6,542	6,708
その他	74,069	76,244
減価償却累計額	34,087	35,566
その他(純額)	39,981	40,678
有形固定資産合計	124,471	125,290
無形固定資産		
のれん	12,399	12,170
その他	5,054	5,119
無形固定資産合計	17,453	17,289
投資その他の資産		
投資有価証券	4,276	6,379
差入保証金	32,921	32,992
その他	29,398	27,265
貸倒引当金	21	21
投資その他の資産合計	66,574	66,615
固定資産合計	208,498	209,195
繰延資産	194	174
資産合計	258,509	255,508

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,281	12,201
短期借入金	1,876	8,645
1年内償還予定の社債	5,990	5,990
1年内返済予定の長期借入金	38,270	36,068
未払法人税等	3,280	932
引当金	1,466	633
その他	33,005	31,742
流動負債合計	97,170	96,214
固定負債		
社債	19,583	18,485
長期借入金	72,522	72,330
引当金	582	578
資産除去債務	1,609	1,628
その他	11,822	11,706
固定負債合計	106,120	104,729
負債合計	203,291	200,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,089	10,089
資本剰余金	10,642	10,642
利益剰余金	25,812	24,776
自己株式	20	20
株主資本合計	46,524	45,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	698	653
繰延ヘッジ損益	149	100
為替換算調整勘定	3,076	2,795
その他の包括利益累計額合計	3,924	3,548
少数株主持分	12,619	12,625
純資産合計	55,218	54,565
負債純資産合計	258,509	255,508

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年6月30日)
売上高	98,856	109,302
売上原価	36,060	42,763
売上総利益	62,796	66,538
販売費及び一般管理費	60,689	64,919
営業利益	2,106	1,619
営業外収益		
受取利息	94	94
受取配当金	84	52
受取賃貸料	85	82
為替差益	-	330
その他	219	178
営業外収益合計	483	739
営業外費用		
支払利息	533	454
賃貸費用	80	70
その他	172	113
営業外費用合計	786	638
経常利益	1,803	1,720
特別利益		
固定資産売却益	0	5
違約金収入	-	6
その他	6	0
特別利益合計	6	12
特別損失		
固定資産除却損	30	94
その他	134	84
特別損失合計	164	179
税金等調整前四半期純利益	1,644	1,553
法人税、住民税及び事業税	998	1,079
法人税等調整額	191	285
法人税等合計	1,189	1,365
少数株主損益調整前四半期純利益	454	188
少数株主利益	98	121
四半期純利益	355	66

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	454	188
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	50	46
繰延ヘッジ損益	0	49
為替換算調整勘定	321	280
その他の包括利益合計	372	377
四半期包括利益	82	565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12	442
少数株主に係る四半期包括利益	95	122

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)
減価償却費	4,057百万円	4,484百万円
のれんの償却額	231	235
負ののれんの償却額	0	0

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2012年6月20日 定時株主総会	普通株式	968	8.0	2012年3月31日	2012年6月21日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2013年6月20日 定時株主総会	普通株式	968	8.0	2013年3月31日	2013年6月21日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2012年4月1日至2012年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自2013年4月1日至2013年6月30日)

当社グループは、フード事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	2円93銭	0円55銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	355	66
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	355	66
普通株式の期中平均株式数(千株)	121,076	121,076

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2013年8月7日

株式会社ゼンショーホールディングス
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 仲澤 孝宏
業務執行社員指定社員 公認会計士 加藤 真美
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ゼンショーホールディングスの2013年4月1日から2014年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2013年4月1日から2013年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2013年4月1日から2013年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ゼンショーホールディングス及び連結子会社の2013年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。